

平成24年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	ファミリーサポートセンター事業			基本目標	町民等との協働による子育て支援の充実			
担当課(局)・係	健康福祉課	子ども支援係	記入者	北川 茂麗	評価者	河野 辰己	開始年度	20 年度

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を)	町内に居住する子育て家庭										
	意図・目的	保育施設の開始前や終了後又は学校の放課後などに子どもを預かることで、家庭の負担軽減を図る。										
事業の内容	乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の労働者や主婦等を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行うものである。											
23年度決算額		1,700	千円	24年度予算額		1,700	千円	事業従事者数	H23 0.06 人	H24 0.06 人		
主な支出項目	委託料	1,700	千円	財源内訳	国庫支出金	725	千円	23年度人件費	428 千円			
			千円		県支出金		千円	24年度人件費	429 千円			
			千円		地方債		千円	24年度予算額における一般財源の割合(H24)		57.4	%	
			千円		一般財源	975	千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください				
			千円				千円					
町の補助事業	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国県補助			補助事業名		-						
	補助交付団体			福)石井記念友愛社		補助金要綱					-	
	23年度	補助額	-	千円	補助の形態	-	H24年度補助額	-	千円	終期	-	年度
		団体の決算額	-	千円	H23年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等							
		補助の割合	-	%								
繰越額		-	千円									

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか	
	1 おねがい会員登録数	サービスを利用したい会員数	
	2 おたすけ会員登録数	サービスを提供したい会員数	
	3		
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に	
	1 利用件数	サービスを利用した件数	
	2		
	3		

◎達成状況

	指標名	単位	22年度	23年度	24年度
			目標値	110	120
成果指標	おねがい会員登録数	実績値	169	103	
		達成率	153.6%	85.8%	
		目標値	35	40	45
成果指標	おたすけ会員登録数	実績値	40	52	
		達成率	114.3%	130.0%	
		目標値			
活動指標	利用件数	実績値	72	130	
		達成率	110.8%	162.5%	
		目標値	65	80	100
活動指標		実績値			
		達成率			
		目標値			
活動指標		実績値			
		達成率			
		目標値			

事務事業名	ファミリーサポートセンター事業	担当課(局)	健康福祉課
-------	-----------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	担当者記入欄	評価する項目	点数 自己 評価
妥(必 当要 性 性)	緊急時にどうしても子どもをみる事が出来ない方や、自己都合により休日に子どもを見る事が出来ないときに、この事業を町民に活用していただいている。	◎目的からして町が行うべきか	2
		◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2
		◎社会情勢(住民ニーズ)に適応しているか	2
		◎事業廃止による影響があるのか	2
有効性	休日の対応については、施設等では子どもを預かる事が出来ないの、この事業が有効性を発揮する。	◎目標に対して成果は得られているか	1
		◎すでに目的は達成されていないか	1
効率性	平成20年から始まった事業であり、徐々にサービスが浸透し、これからより多く活用されるサービスである。町からの費用については、補助基準を基本とし、利用助成金を1時間300円町単独で行っている。	◎活動量の効果は実際に上がっているか	1
		◎費用対効果が十分に認められるか	1
協働性	おたすけ会員については、有料ボランティアとしてセンターに登録してもらい、会員との協働により事業が成り立っている。	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	2
合計(最高18点)			14

※町補助をしている場合のみ記入

公(公 益平 性 性)		◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること	
		◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	
		◎町民の理解が得られる事業であるか	
合計(最高4点)			0
その他			

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合 評 価	◎担当者の方針に対する 評価者としての所見 ◎統括者として、どのよう に事業を進めるべきと考 えているか、等	乳幼児や小学校低学年生を有する保護者が、どうしても子供をみる事ができない状況に置かれた場合、保護者の要望に応える子育て支援の選択肢の一つとして、継続して実施する事業である。さらに本事業の周知等図りたい。	今後の方向性			
			事業 の 方 向 性	拡充	維持	縮小
						○
			廃止	縮小	維持	拡充
			コスト			

◎事務事業評価委員の意見等

<ul style="list-style-type: none"> ・制度の啓発が足りないのではないか。 ・お願い会員の減少は利用者の固定化と説明されたが、新規会員の募集について広報活動が不足していると思われるので、積極的に周知を行うこと。 ・利用件数は増加傾向にあり、継続して実施する必要がある。 ・おねがい会員の増加に向けた効果的な周知が必要である。 	◎今後の方向性
	事務事業評価委員会
	判定: 維持
	外部評価委員会
	判定: /